

一一〇一一年度

（参考）本学の新規開設のため、現行の学年区分を廃止する。また、各学年区分を改め、現行の学年区分を廃止する。

国

語（A2日程）

（解答はすべて解答用紙に記入しなさい）

□ 本学の新規開設のため、現行の学年区分を廃止する。

□ 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。（設問の都合上、一部省略した部分があります。）

マサチューセッツ州の、ハーバード大学からは少し離れたところにウェルズリー大学という女子大学があります。アメリカでもトップクラスのレベルの高い女子大学で、ヒラリー・クリントン（元国務長官）^{はな}が学んだ大学としても知られています。
私は数年前、この大学を視察に行きました。東京工業大学のリベラルアーツはどうすべきかということを学ぶために同僚の先生たちと見に行つたのです。

驚いたのは、ここではすぐに役に立つことは教えないというのです。たとえば経済学は教えるけれども、経営学は教えないと言います。どういうことでしょうか。

大学側の説明によると、人間の心理や人間性をわかつていなければ経済活動は分析できない。人間を理解するという点で経済学は必要だから学ぶべきだ。でも、経営学は企業をどうやって経営するか、あるいはどうやって余儲けをするかという話が中心だから、そういうことは大学で学ぶ必要はない。ビジネススクールに行ってから学べばいい。A 経営学は必要ない、という理屈です。

そもそも経営学は、その時々で最新の経営理論が出てきて、教える内容が頻繁に、しかも大きく変わります。大学で一生懸命時間をかけて経営学を学んでも、世の中に出たときには、もうすっかりそれは役に立たなくなっているかもしれない。それでは意味がないので、大学ではすぐに役に立つようなことは教えない。すぐに役に立つ実用的なことを知りたければビジネススクールに行つてください。そこでは常に最新の経営学の理論を教えているから、本人の希望するとおりすぐに役に立つだろう。こう考えているのです。あまりの徹底ぶりに驚いてしました。

マサチューセッツ工科大学（略称はMIT）という全米トップの理系の大学があります。ハーバード大学のすぐ近くにあります。そこを視察したときは、当然、最先端のITやコンピューター、電子工学などを教えているんだろうと思つて訪ねていきました。ところが、ここもいい意味で期待外れでした。MITではそこに重きを置いていないというのです。すぐに役に立つことは教えないという教育方針は、ウェルズリー大学と同じでした。

近年、最先端の科学技術はだいたい3年から4年で陳腐化します。陳腐化するとは、要するに役に立たなくなるということ。最

先端の技術は日々進化しているので、4年しかない大学の課程でそんなことを教えていたら、大学を出て数年でもう役に立たなくなってしまう。だからそんなことは教えない。4年間あるいは6年間の大学教育の目標は、その最先端の技術を自らの力で作り出していく能力を身につけさせることだ、と言うのです。いまはこうなっていますということを学ぶのではなくて、自分の頭で考えて最先端の科学技術を自分の力で作り出せるようになります。MITはそういう人間を育成するための学びの場だというのです。「ああ、これがリベラルアーツというものなのか」と思ったのです。

MITのキャンパスに行くと、いかにも理系の学生という人たちが大勢いますが、驚いたのは音楽教室が充実していることです。ピアノのある音楽教室がずらりと並んでいて、一体いくつあるのかと思うほどたくさんありました。そこで各種の音楽教育を実施しています。

理系の数学と音楽は非常に親和性が高いそうです。数学ができる学生は音楽も秀でている。反対に、音楽がよくできる学生は数学や理数系に強い。そういう関係があると言つていました。

なるほどと思うとともに、ビックリしましたね。「数学と音楽は、実は親和性が高い」という話は、私には目から鱗でした。

東京工業大学に行くと、キャンパスに無造作にピアノが置いてあって、学生がそこで自由にピアノを弾いている姿を見かけます。考えてみると、私の教え子にもバイオリンのひときわ上手な女性がいました。音楽に強いという学生が結構います。数学と音楽が非常に親和性が高いというのは、確かにそうなんだろうと思います。楽曲は 4 に組み立てられているところがあり、音楽を学べばそれが数学の学びにも影響を与え、それは将来思わずところで役に立つに違いありません。

一見遠回りのように見えて、長い目で見るといつか役に立つ。リベラルアーツとはそういうものだということをMITで学ぶことができました。

大学で何の役に立つかわからないで学んでいたことが、後になつて花開くというのはよくあります。

身近なところでは、あなたもアップルの製品をいくつも使っているのではありませんか。パソコンのMacintoshをはじめ、iPadにiPhone、そして何といってもiPhoneは高い人気を誇っています。アップルの製品はおしゃれですよね。あのなめらかなデザインには、誰もが引きつけられます。これはアップルを創業したステイーブ・ジョブズのセンスが抜群だったからです。

ステイーブ・ジョブズは2011年に56歳で亡くなりましたが、大学は中退しています。アメリカ北西部のオレゴン州にある

リード大学という、日本ではあまり知られていない大学に入り、そこで「カリグラフィー」というアルファベットをどのようにデザインするかという学問——日本でいうと書道に少し近いかもしません——に興味を覚えます。

大学を中退したのにそのカリグラフィーの授業だけはこつそり出でていたそうです。それが何の役に立つかなんて考えたこともなかつた、ただおもしろいと思つたから授業に出ていた、と本人が言つています。⁵

ところが、その彼が、のちにいわゆるアップル・コンピューターを作り出します。初期のアップル製コンピューターもピックリするほどおしゃれなデザインでした。次々にユニークなデザインの製品を出してきて世界中の人たちを驚かせました。

ステイーブ・ジョブズは、アップル製品のデザインには、かつてカリグラフィーで学んだことが生きていると言つています。彼がカリグラフィーを学んでいる当時は、それを学んでおけば将来、コンピューターの魅力的なデザインができるとはこれっぽっちも考えていませんでした。 B、そのときはまだコンピューターを作るというアイデアすらなかつたからです。

けれども、アップルの iPod にしても iPad にしても iPhone にしても、あれだけの優れたデザインは、そもそもステイーブ・ジョブズが「おもしろいと思ったから」というだけで学んでいたことが、ずっと後になつて花開いたわけです。

すぐに役に立つことばかり考えるのではなく、いまおもしろいこと、知りたいことを一生懸命学ぶ。それがいつか必ず、何らかのかたちで生きてきます。それこそが大学で学ぶことの意義だと思うのです。⁶

(出典 池上彰『なんのために学ぶのか』SB新書による)

問一 a 「目から鱗」の意味として最も適当なものを次のの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 意外なところから思いもよらないことが飛び出すこと。

イ たいへん危険な状態からかろうじて助かること。

ウ 何らかのきっかけで急に物事が分かるようになること。

エ 見聞きするうちに知らず知らずその物事にくわしくなること。

オ なんの手ごたえもなく効果がまったくないこと。

問二 A

A・Bに入る言葉として最も適当なものを次のの中からそれ選び、記号で答えなさい。

- ア だから イ つまり ウ もし エ また オ しかし カ なぜなら

問三

——線1「すぐに役に立つことは教えない」とありますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 学生は人間の心理や人間性について理解できれば十分だから。

イ 学生の大学で学びたいという意欲を失わせてしまうかもしれないから。

ウ 学生が世の中に出たときには使えないものになるかもしれないから。

エ 学生の興味の対象はその時々で大きく変化していくものだから。

オ 学生がビジネススクールに進学する機会を増やそうとしているから。

問四

——線2「期待外れ」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 最先端の研究に打ち込む学生の姿を探したが、音楽を楽しむ学生しか見かけなかつたから。

イ リベラルアーツを重視していたが、世界トップクラスのハーバード大学には劣つていたから。

ウ 最先端の科学技術を見ることができたが、日本の大学に取り入れるべき技術はなかつたから。

エ 最先端の科学技術を見ることができたが、日本の大手に取り入れるべき技術はなかつたから。

問五

——線3「数学と音楽が非常に親和性が高い」とありますが、どういうことですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

記号で答えなさい。

ア 数学に親しむと音楽の樂譜が書け、音楽に親しむと数学の図式が書けるということ。

イ 数学を学ぶと音楽を好きになり、音楽を学ぶと数学を好きになるということ。

ウ 数学が苦手な人は音楽を始め、音楽が苦手な人は数学を学ぶようになるということ。

エ 数学ができる人は音楽もでき、音楽ができる人は数学もできるということ。

オ 数学を嫌うと音楽に興味がなくなり、音楽を嫌うと数学を学ばなくなるということ。

問六

—— 「きちんと筋道立てて考えるさま」という意味の言葉が入ります。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 積極的 イ 論理的 ウ 基本的 エ 感情的 オ 白主的

問七
——線5「カリグラフィーの授業だけはこつそり出でいた」とありますか。その理由を本文中から十一字で抜き出しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問い合わせも同じ。)

問八
——線6「大学で学ぶことの意義」とありますか、どうすることですか。四十五字以内で答えなさい。

二

文化祭が近づいたある日、クラス旗の作成中に係の一人である松村は旗に赤い絵の具をこぼしてしまい、朱里はその失敗を強く責めた。そんな朱里の態度を「私」が注意した場面である。よく読んで、後の問い合わせに答えなさい。

「……もういい。帰る」

そう吐き捨てる2と、ふり向きもせず、朱里は足早に歩いていってしまった。その背中を視線だけで追いかけながら、私は、そつと目をふせる。

泣きたかった。

だけど、泣かない、と思つた。

だって、私は今、朱里に本当の気持ちを言つた。そのことに、後悔はなかつたから。

ゆっくりと深呼吸してふり向くと、しおりと最初に A が合つた。心配そうなそのままざしに、大丈夫だよ、といふうに、私はうなずいてみせる。

「佐古さん……ごめんなさい。私のせいです」

目を赤くした松村さんに、私はううん、と首をふつた。それは、本当の気持ちだつた。私と朱里が衝突したのは、絶対に、松村さんせいじゃない。

「……だけど、どうしようか。これ」

と百井くんがつぶやいて、私たちは改めて、赤く散らばつたシミを見下ろした。

淡い色が混じり合つた幻想的な空の中に、点々と散つた鮮やかな赤。たしかに、そこだけ見れば、違和感はある。だけど、なんて鮮やかなんだろう。

そう思つた時、ぴんと心にひらめくものがあつた。そうだ、初めてしおりと出会つた日、私たちの間を吹き抜けていつた風と、ひらめく花びらと――。

「……花」

ぽつんとこぼした私のつぶやきに、三人が、いつせいに顔を上げる。

「花?」

B

をかしげるしおりに、私は大きくなっていた。

「そう。隠すんじやなくて、デザインの一部にするのってどうかな。空に花びらが舞つてゐるようなイメージで全体に描きたして。

そしたら、遠目からでも華やかに見えるし……」

そこまで言つた時、みんなの視線が私に集まつてゐるのを感じて、はつとした。遅ればせながら恥ずかしくなつて、かつと頬がほてる。どうしよう。もしかして、おかしいことを言つてしまつただろうか——。

けれど、その時。

「いいと思う。すぐく

え、とまばたきをする私の前で、しおりがまつすぐ私にはほえみかけて言つた。

「やろうよ、それ

四人で頭をくつつけるようにして、空に、たくさんの花びらを描いた。そして少しずつ暮れていく教室の中で、私たちは、今までいちばん、お互いのことをしやべつたと思う。

松村さんが吹奏楽部でホルンを吹いていること。最近、小学生の妹が生意気になつて困つてること。そんなことも、初めて知つた。「生意気なのに、やっぱりかわいくて。くやしいけど」と、照れくさそうに笑う松村さんは、教室では見たことのない、「お姉さん」の顔をしていた。

百井くんは、あまり自分のことを話そとはしなかつたけれど、私たちの話にのんびりうなづいたりあいづちを打つてくれたりした。そのおだやかな横顔は、クラスの騒々しい男子たちとは、まるで雰囲気がちがう。そのせいだろうか、男子が苦手なはずのしおりまで、百井くんとはごく自然に言葉を交わしてゐる。そのことに、びっくりした。

「瀬川さんは、将来、画家になるの?」

教室に差し込む光に夕暮れの色が混じり始めたころ、百井くんが、ふいにそう言つた。

「……なんで?」

唐突な質問だったからだろう、ささやくように答えたしおりの頬が、

C 赤くなつた。

3

「え。だって、いつも休み時間に絵、描いてるから。だから、そうなのかなって」

「く当たり前のように、のんびりと笑つて、百井くんは言った。

その言葉に、はつとする。今まで考えたこともなかつたけれど、そういうえば、百井くんは昼休みにどこで何をしているんだろう、と思つて。でも全然、思い浮かばない。そんなことさえ思い出せないぐらい、「く近い、目の前の出来事しか自分には見えてなかつたんだと思つて、ふいに恥ずかしくなつた。

「……なりたいつて、思つてはいる、けど」

やがてしおりが恥ずかしそうにそうつぶやくと、「うわあ、やっぱりそうなんだ」と、百井くんはうれしそうに、明るい声を上げて笑つた。その声にしおりは D 頬を赤くして、「私、水換えてくるね」と、にこつた色水のバケツを片手に、そそくさと立ち上がる。しおりが教室を出ていつたところで、「あの……」と松村さんが、遠慮がちに私のほうに顔を向けた。

「なに？」

「ううん。ただ、佐古さんと瀬川さんつて仲よかつたんだなつて。ちょっと意外だつたから、その、びっくりして……」

「によ」によとそう言つてから、松村さんはあわてたように、「あ、でも悪い意味じやなくてー むしろいい意味で！」と、言葉をついだ。

「なんだか、見てて、本当の友達つて感じがするから。だから、いいなつて」

その一言に、驚いた。境界線を越えることが、私はずっと怖かった。「日向」からはみ出そとすることは、とがめられても仕方ないことなんだつて、そう思つていた。だけど、いいな、と松村さんは言つてくれた。心を込めて。

「うん。小学校が一緒で。その時から……親友で」

親友、という言葉を使っていいのか、しおりが今もそう思つてくれているのか、それは私には分からぬ。でも、そうだつたらいい。そう思つて、私は言つた。

「へえ、いいなあ。そういう友達」

百井くんが間のびした声で言つて、のんびりと笑う。私はうなずいて、応援旗に目を落とす。
花びらの舞う空の中を、悠々と泳いでいく大きなクジラ。
どこにでも行けそうな自由さが、その絵からは伝わつてくる。

私もいつか、そんなふうに、なれるだろうか——。

4
そう胸の内でつぶやいたら、教室に差し込む夕日が、かすかに目にしみた。

(出典 水野瑞見「十四歳日和」講談社による)

問一 線 a 「られ」と文法的な用法が同じものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 先生が話される。
イ これくらいなら覚えられる。
ウ 故郷がしのばれる。
エ 厳しい冬にもたえられる。
オ 声をかけられる。

問二 □ A・Bに入る体の部位として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア 首 イ 頬 ウ 日 エ 頭 オ 胸 カ 足

問三 □ C・Dに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|----------|---------|
| ア C=ぎょつと | D=しだいに |
| イ C=どつと | D=ゆつくりと |
| ウ C=じつと | D=さらに |
| エ C=さつと | D=いつそう |
| オ C=そつと | D=ふいに |

問四

——線1「本当の気持ち」とあります。このときの「私」の気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 朱里に本当の気持ちを言つてしまつたことを後悔している。

イ 朱里と衝突したのは松村さんせいではないと思っている。

ウ 松村さんが旗を汚したことを、実は腹立たしく思つていてる。

エ 心配した表情を浮かべるしおりをわざらわしいと思つていてる。

オ なぜ本心を口にしてしまつたのか分からず、とまどつていてる。

問五
——線2「びんと心にひらめくものがあった」とあります。どういうことをひらめいたのですか。次の文の空欄に入

る言葉を、本文中から十字で抜き出して答えなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問い合わせも同じ。)

赤く散らばつたシミを花びらに見立てて

(十字)こと。

問六

——線3「かつと頬がほてる」とあります。なぜですか。その理由を四十五字以内で答えなさい。

問七

——線4「私もいつか、そんなふうに、なれるだろうか」とありますが、この時の「私」の気持ちとして最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 小さなことでは怒らないおおらかな心を持ちたい。

イ どんなに時が流れても変わらない自分でいたい。

ウ 周囲を気にせずに自分の気持ちに正直に生きたい。

エ のんびりしたペースをくずさずに過ごしたい。

オ いろいろな国を自由に旅しながら絵を描き続けたい。

問八 本文の内容として最も適当なものを次の申から選び、記号で答えなさい。

ア 私は朱里が立ち去つてしまつて悲しくなつたので、思わず泣いてしまつた。

イ 松村は絵に赤いシミをつけてしまつたことに動搖してしまい、言い訳をした。

ウ 百井はしおりに好意を寄せてゐるため、画家になる夢を応援したいと思つてゐる。

エ 私は、しおりが自分のことを今でも親友だと思つてくれてることを願つてゐる。
オ しおりは画家になる夢を馬鹿にされると思つっていたので、誰にも言わなかつた。



〔三〕次の各問い合わせに答えなさい。

問一 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① イクジと仕事を両立する。
- ② 集合ジコクは十時です。
- ③ ヤタイでラーメンを食べた。
- ④ サカミチを登った。
- ⑤ 次のバス停でオります。

問二 次の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① おやつを配る。
- ② 税金をおさめる。
- ③ 商品を流通させる。
- ④ お年玉を貯金した。
- ⑤ マフラーを編んだ。

一

問一	
問三	
問五	
問七	
問八	

問一	A	B
問四		
問六		

二

問一	
問三	
問五	
問六	
問七	

問一	A	B
問四		

三

問一	①				
問二	②				
	③				
	④				
	⑤				

名前は書かないように

受験番号